

1. 清音神在本線年度別事業計画

第2回総社市高梁川新架橋整備方針審議会

資料 1

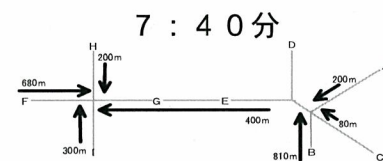
2. 総社大橋周辺の渋滞対策

2-1. 付近の交通量推移 総社大橋・川辺橋周辺の交通量について

推計どおりの推移
H11→H17 現実 6%増
推計 4%増

2-2. 総社大橋の現在の渋滞状況と原因

状況 朝 7:00-9:00が渋滞
原因 西詰め交差点の容量不足



2-3. 渋滞対策

①交差点容量を拡大

2-3-1. 信号制御の見直し
変化わずか

2-3-2. 西詰交差点改良
一部渋滞解消

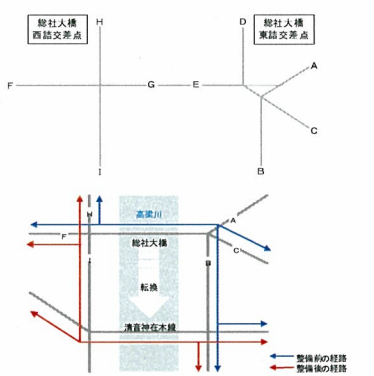
2-3-3. 西詰交差点改良+総社大橋北側車線の2車線化
渋滞解消
(総社大橋のみ)



②バイパス整備

2-3-4 清音神在本線の整備
渋滞解消

交通分散
周囲交差点渋滞も緩和



将来の総社市全域の発展を考慮し
バイパス整備を決定

3. バイパス整備詳細

3-1. 費用の算出

道路整備に要する事業費
61億円

道路維持管理に要する費用

日常的な維持管理に要する費用
534万円/年

定期的な修繕に要する費用
50年に1回 1億5千万円/回
25年に1回 8百万円/回

残存価値(用地)

3-2. バイパス整備に伴う道路状況変化の推計

3-2-1. 交通量推計

現在の総社大橋周辺の交差点毎の交通量を推計

山陽ブロック交通量伸び率
平成32年まで徐々に増加傾向

供用開始時である平成27年
の総社大橋周辺の交差点毎の交通量を推計

3-2-2. 時間短縮(走行速度推計)

現在の総社大橋周辺交差点毎の走行速度を推計

種別 自動車道・一般道路
種類 道路の規模における分類
沿道状況 市街地・DID・平地
用途 用途地域内
車線数 2車・4車 等
交通量 → 走行速度

供用開始時である平成27年
の総社大橋周辺の交差点毎の走行速度を推計
交通分散により広域に走行速度が向上
時間短縮が図れる

3-3. 便益の算出

走行時間短縮便益

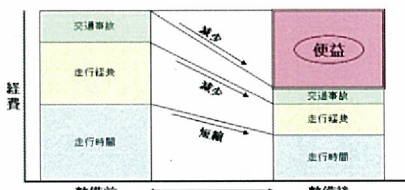
広域な便益は15億円/年

走行経費減少便益

1千万円/年

交通事故減少便益

5百万円/年



3-4. 費用便益分析 (妥当性の確認)

2-4-1. 広域道路としての分析
2-4-2. 地域(バイパス)道路としての分析
2-4-3. 渋滞対策の道路としての分析

便益が費用の 5.2 倍
便益が費用の 2.9 倍
便益が費用の 1.8 倍

4. バイパス整備による効果

4-1. 総社大橋周辺の渋滞解消

総社大橋渋滞解消+交通の分散が行われるため、周囲交差点の渋滞も緩和

4-2. 企業誘致への優位性向上

総社岡山IC-ウイングバレイ西 走行時間35分→27分へと8分短縮(2割アップ)

4-3. 第2次緊急輸送道路代替道路としての役割

4車線道路をフルに生かした川西への緊急輸送路確保

4-4. 緊急車両の安定した経路確保

4車線道路をフルに生かした川西への緊急車両の安全・迅速・安定した経路が確保